

愛西市地域福祉計画の評価、意見

(対象年度：令和6年度)

項目	評価、意見内容
目標1 身近な地域で支え合う まちづくり	<p>昨年度導入した冷蔵庫に取り付ける高齢者の見守りシステムの設置台数が愛西市の人口を考えると少ないように感じる。緊急通報システムから見守りシステムへ移行するのではなく、生活スタイルに合わせて設置してもらえたらと思う。令和5年度から導入した見守りシステムに関してはホームページや広報の他に会議等での情報共有等により周知されており、今後も周知活動を継続してほしい。</p> <p>防災ボランティアコーディネーター養成講座と防災ボランティアコーディネーターフォローアップ講座に関しては隔年の実施になるが、市内の受講者が少しずつ増えてきているようなので、今後受講者が増えていくことを期待したい。</p> <p>市民後見人養成研修を受けた方にバンク登録をお願いしているとのことであり、登録された方とのマッチングや法人後見など今後検討してもらいたい。</p>
目標2 誰もが活躍できる仕組みづくり	<p>老人クラブや会員数が少しているようだが、生きがいや楽しみのためにも今後も継続的に支援してもらいたい。ファミリー・サポート・センター事業の提供会員は増加し、依頼会員のニーズに対応できているようなので、今後もこの事業に期待したい。</p>
目標3 支援を必要としている人とサービス	<p>重層的支援体制整備事業が開始されたことは大きな進展である。今後複雑化・複合化している課題について関係機関と連携をとって対応してもらいたい。「第1次自殺対策計画」が昨年までで終了しているが、その後「健康日本21計画」と「食育推進計画」と包括した計画にて今年度策定されたことから、今後の取り組みに期待するところである。</p>

<p>目標 4 安全で安心して暮らせる環境づくり</p>	<p>AEDは様々な場所に設置されているが、実際に使えるかどうか重要になってくると思う。市の職員向けに研修が行われているようなので、今後も継続して研修を行ってほしい。</p>
<p>総評</p>	<p>重層的支援体制整備事業を近隣市町村ではまだ行っていないところが多い中、愛西市は既に行っているので頑張っていると思う。今後も関係機関と協力しながら早期発見、早期対応につなげていただきたい。</p> <p>また既存の制度に加え、ファミリーシップ・パートナーシップ制度も導入されており、権利擁護センターでの後見人の活用が検討されるなど、様々な制度の導入、検討が進められている。</p> <p>今後さらなる高齢化に伴い難しい問題も増えてくるのが考えられるが、実際の現場に目を向け、関係機関で協力体制をとり取り組んでもらいたい。また、外国人の方も含め、色々な人が生きやすい、生活しやすい地域になるといいと思う。</p>

令和 年 月 日

委員長

副委員長

委員

委員

委員